

講座コンセプト

企業の競争力ある製品の開発において自社の研究シーズだけでは事業化のスピードに問題があり、一方で大学や研究機関のシーズの活用するには、壁や溝が存在し、事業化が思う様に進まない。その現状を打開するために技術とビジネスの双方理解し研究を事業化につなげていく「プロデューサー」が求められています。

本講座はオープンイノベーションの事例や取組みのポイント、外部との契約や知財の問題、共同研究を進め方などを理解し、外部との連携から事業化に進む経験を体験できるプログラムを提供することを通じて研究開発を事業化にあたっての課題を打破できる人材の育成を目的としております。

座学だけではなく、参加者間での議論や学び合いの機会を提供し、相互に啓発する内容であり、異業種間の交流が自然に生まれる場も用意いたしております。

日々第一線で実践されている講師陣の方々とのお会いも今後の事業活動において貴重なものとなります。

既に、過去4年間実施した講座参加者からは、実際の共同研究に進んだ案件や国などの支援事業に採択された案件も多く、今後の事業化が期待されています。

KyO Knowledge Frontier OSAKA
おおさかナレッジ・フロンティア推進機構とは？

大阪経済の活性化に向けて、大学等の研究成果を革新的な新製品等の開発につなげ、事業化プロジェクトをプロデュースし育て上げていく新しい仕組みとして、財団法人大阪市都市型産業振興センター内に発足した。研究開発から事業化段階まで一貫した支援活動を展開しています。

- 受講対象**

 - A 技術系企業において、新事業の展開を志向する経営者・技術開発担当者
 - B 大学/公設試等の研究成果をもとにベンチャー企業の創業を志向する方
 - C 技術商社等で顧客の技術的課題を数多く抱え、解決手法を模索している方
 - D 新商品の企画開発・マーケティングの担当者で、技術開発への知見をお持ちの方

「研究を事業化するプロデューサー養成講座」は大阪市からの委託を受け運営しております。

本養成講座の特徴

研究を事業化する実践力の向上に重点を置いたカリキュラム

- ▶ **講義**
- 産学連携・技術移転などの豊富な知識や経験を持つ講師陣
 - 事業化の現場から、臨場感溢れるノウハウの数々を伝授

- ▶ **ワークショップ**
- 実際の交渉場面でも使える心構えや心配りを実習
 - 異業種の受講生同士で価値観や視点の相違を体験

- ▶ **合宿研修**
- 非日常的な環境下での共同研修で、柔軟な発想を促進
 - 短期集中型の共同作業により参加者間の人脈形成を促進

- ▶ **OJT (On-the-Job Training)**
- 受講生の希望に応える研究者を、技術移転のプロがマッチング
 - 研究シーズのヒアリングからビジネスプランを策定
 - 講座終了後も研究者と受講生の連携が継続する事例も

- ▶ **特別講義**
- 新事業創出に活路の深い特別講師による、受講生限定セミナー
 - 同時開催の卒業生交流会で、新たな人脈形成の場を提供

OJTの実例

▶▶ CASE 01 ベンチャー企業経営者



▲ 新規事業コンサルティング会社社長 (30代男性) ▲ IT関連で独自の技術とデータベースを持っている大学教育へヒアリング



▲ 新会社の設立に向けて、産学連携ベンチャー創業者の補助金申請へ! ▲ OJTを通してビジネスモデルをブラッシュアップ。実現可能なものに

▶▶ CASE 02 大企業の技術企画担当者



▲ 1部上場・材料系企業技術企画担当者 (40代男性) ▲ 化学分野・有機反応系の基礎研究を行っている大学研究者へヒアリング



▲ 魅力的な提案に大学研究者が賛同、共同研究へ向けに研究助成金の申請へ ▲ 受講生同士での議論を通し、自社技術と融合させた応用技術展開を提案

本講座ではOJTで希望分野の研究者との接点ができる点に強い魅力を感じ、応募しました。日常の業務体験を通して自己流で考えていた産学連携のポイントについて、棚卸しながら体系的に深掘りすることができ、反省しながらも自信に繋がりました。OJTでヒアリングした研究者と、現在ITベンチャー創業に向けた活動を進めており、受講前に想像しなかった大きな成果が得られました。「行動と計画は両輪、両輪が回って初めて事業の実現性と精度が高まる」と考えておりますが、この考え方をコースの随所に具現化されている貴重な講座です。

外部技術を自社の成果と結び付ける研究企画担当の自分に最適な講座だと思い、受講しました。「毎回宿題をきちんとやり、出席しないといついてもいけない」との前評判通りの講義でした。講座を通して、異業種・異分野の方と頻りに意見交換できたのは非常に意義がありました。特に合宿でのディスカッションは印象的で、短期集中で多様な視点からアイデアを出し合うと、化学変化が起こってその可能性が非常に膨らむことを体感しました。これまで共同研究・開発に対して難しく考えていましたが、講座での学び・体験を通し、産学連携に対して肩の力が抜けてスッキリした感覚になりました。

▶▶▶ 受講生コメント

事業化の基本的な考え方、目のつけどころを教えてくださいました。良かったです。

本来教えてもらえないような情報も教えていただき面白かったです。

すばらしいメンバーと互いに勉強でき、とても幸せでした。今後も皆様と情報交換していきたいです。

私は、いろいろな教育を受けましたが、事務局、受講生、講師がこんなに気持ちのいいものはなかったと思います。

研究者との幸運な出会いのおかげで、自分も思わぬ進展があり、びっくりしました。

20代女性 (バイオ系)

20代男性 (材料系)

40代男性 (化学系)

50代男性 (デバイス系)

50代男性 (材料系)